

参議院選挙制度改革に関する緊急決議

地方における喫緊の重要課題である急激な人口減少に歯止めをかけ、関東圏域への過度な一極集中を是正するためには、地方創生への取組が急務である。

現状でも危機的な状況にある高知県において、「一票の格差」を是正するため、高知県をはじめとする人口が少ない選挙区を統合する合区案が検討されていることは、われわれ地方行政を預かるものとして看過できない事態である。

人口減少地域における合区は、国会における地方選出議員の減少に直接的につながり、地方における大都市圏との更なる格差拡大を招きかねないことを強く危惧する。

地方の活性化を図るためには、当事者である地方の意見が国において最大限に活かされることが大切であり、人口によって単純に区割りを決定することは、人口の少ない地方の切捨てにつながり、地方創生に逆行するものである。

参議院選挙制度改革に当たっては、人口の多寡にかかわらず、地方の意見を国政に反映できる、地方創生にふさわしい仕組みを構築すべきであり、都道府県単位による代表が国政に参加する仕組みを維持することを強く求める。

以上決議する。

平成27年7月24日

高知県市長会

会 長 岡 崎 誠 也

高知県市議会議長会

会 長 竹 村 邦 夫

高知県町村会

会 長 岩 崎 憲 郎

高知県町村議会議長会

会 長 尾 崎 政 廣